



魂 智 和

令和元年 5月31日 (金)

TEAM 戸上

千曲市立戸倉上山田中学校だより NO. 2

TEAM戸上 安心安全な学校を目指して

今日、学校内外の重篤な事件や事故により、学校の安全確保・危機管理が大きな課題となっています。本校では、生活安全・交通安全・災害安全等に関する総合的な学校安全計画が含まれる「危機管理マニュアル」を見直すとともに、こうした課題に対応できるように、4月には、避難訓練、交通安全教室を実施し、今年度のスタートをきりました。さらに、より安全・安心な学校づくりを目指して、教職員の危機管理意識の高揚を図るために、非違行為防止研修を積んでいます。例えば、生徒と教室や研究室等で外から見えない状態で1対1にならない他、「生徒と接する際のチーム戸上共通ルール」を作成し、お互いに確認し合うなどして取り組んでいます。また、生徒の危機回避能力の育成と地域ぐるみの安全確保の観点から、千曲署・安全協会のご協力により登校時における安全指導も行われました。(5/14 ケーブルTV放映)



避難訓練 4/17



自転車安全モデル校に指定 4/22



夜光 空気入れカバー装着
安全指導 5/14

安全意識・「自分の命は自分で守る」力を一層高めていきたいと思えます。

大成功！ 生徒総会

令和元年度 生徒会スローガン

勇 壮 活 発
～ 本物の誇りを全員で ～

「スローガンに込めた願い」

- 元氣あふれる生徒会を全員で創る。
- プライドファイブを本物にする。



先輩方から代々誇りとして受け継がれてきたものを、ここで絶やさず本物にし、元氣あふれる生徒会を創りあげたいと考えています。 — 議案書より抜粋 —

山根校長先生より「村の祭り酒」

これは、かつてサッカーの侍ジャパンを率いた「岡田監督」が選手に話されたお話です。

その村では、収穫をお祝いして、みんなで夏祭りをする習慣がありました。お祭りでは、お酒が入った大きな樽を、みんなでバーンと割って（鏡割りといいます）、乾杯をしてお祭りをするのだそうです。ところがある年、天候が悪くて農作物がほとんどとれず、お金もなくて貧乏でお酒が買えなくなってしまったんだそうです。「困ったなあ。これじゃあ、お酒が買えなくて夏祭りができないなあ」みんなで悩みました。すると、ある人がこう言いました。「みんなが家から少しずつ、お酒をもってきて樽にいたらどうだ？」それを聞いたみんなは「それはいいアイデアだ。少しだったら私の家にもある」「さっそく家から少しずつ持ってこよう」ということになりました。そうして、たちまち樽がいっぱいになったそうです。「これで夏祭りが開ける。よかった。よかった。」とみんなで喜びました。さていよいよお祭り当日になりました。みんなで樽のふたを割って、乾杯をしました。そして飲み始めました。ところが……。一口飲んだ瞬間、みんないやそうな顔になりました。楽しいお祭り、そしておいしいお酒のはずなのに、どうしてみんなそんな顔になったのでしょうか。実は、樽の中身は、お酒ではなくて、「水」だったのです。「私ひとりぐらいお酒ではなくて、水をもっていってもわからないだろう。」そうみんなが考えた結果、樽の中は、水でいっぱいになってしまったのです。岡田監督は、チーム全員を集めたミーティングでこの話をして一人一人の選手に自らを振り返らせたそうです。この話は、本校の校長講話でも取り上げたことがあります。「自分ひとりぐらいいいや」という思いは、子どもたちだけでなく、私たち大人一人一人ももちやすい思いです。

学校は、言うまでもなく、子どもたちの成長を扶ける営みが、チーム（保護者、地域、外部機関、職員）で行われる場所です。より強いチームを創っていくには、「私がやる。」という強い意志と行動を一人ひとり持つことが必要です。また「自分一人ぐらいいいや」という思いを断ち切るきっかけも、チームが与えてくれることも多くあるのではと思います。

生徒会応援歌



魂を込めた伝統の応援練習始まる！

白雲映ゆる 冠着を
仰ぎ鍛えし 我が選手
一度行けば 何者か
我等に敵する 者やある
いざいざ振るえ いざ競え
ああわが戸倉上山田

「電子ピアノ」を 寄贈していただきました。



株式会社 ヤナギサワ
代表取締役 柳沢 力勇様より

ありがとうございます。
大切に使用させていただきます。

今 全校が一つに 中体連地区大会迫る！

文責 教頭 岩松裕一